### 給方法變更に付て 育兒用乳製品の配

で從來使つて

た購入票

配給月分さして發行されますの

製品購入票を受けこれを地方販 方法は翌月需要數量を需要者か 費所を通じまして蘇卸組合に取 今日までの育兒用乳製品の配給 ら各市町村役場に届けてそ

の分から根本的に次の機に更め 配給增量も容易に認めませんの 出來なくなり切符の効果も薄ら 量が多く最近に於きましては漸 購入票に按配して配給して居り 優め卸組合では國から割當てら ましたる関係上餘りにも希望數 有機で今後に於ける乳製品の その三分の一を充す丈けしか したる數量を右の取綴めた ない機に御注意下さい。 交付されますので

割當て 行する事になりましたので購入 ごを勘接致しまして購入票を發 町村は乳兒の狀況母乳の出方な たる數量を更に地方事務所別に 先づ國から縣に割當てられまし 事務所は町村別に割當て 致し

票に記載する數量に町村長の割 當量を書かればなりません、 へば五雄さ書いたものが二雌し まして今までの様に例

全く無くなり其全量入手出來る か配給されないさ云ふ様な率は 仕組さなりました。衛に乳製品

豪

夏縣月報附

· 斯斯林十八年十一月十五日發行 斯林十八年十一月十五日發行

(第四卷第十

据 数 敬 敬 行 印 原 人

111

富

糖

篡

奈

麻地

方 課

に御持念願ひます。配給量は前されました購入票を區内配給所 乳製品の種類別数量は月に依つ 用紙さなるから設損したり失は 迄の九ヶ月間に使用出來る事ご ら質需者各位に於きましては異 述の通り相當窮屈な今日ですか りな種類の乳製品が入るさは限 て異りますから實需者の希望通 の一割文けを切取つて需要者に なります。從つて役場に毎月そ は本年十二月分から明年八月分 給さる、様充分御協力を御願ひ に必要已むを得ない者のみに配 給所が一箇所又は二箇所設置さ 奈良市では各學校區毎に指定配 れますから需要者は市より發行 ませんから欲め御諒承顧ひま 小さな 然廢止して一冊で 共に此の際不必要な出版物は 費するのは候しむべきであるさ 物を發行する襟心掛け度いも然廢止して一册でもより良き 出版されて居るが此の紙の大切 左程必要でも無いのに機関紙 最近會社や役所や一般人の中で

### 指導委員の設置 大政翼贊會常會

である。

等の指導徹底を期すべく新に常 養運動を强力活潑に展開するた **| 大政翼賛會奈良縣支部において** 會指導委員を設 め市町村常會、部落會、町内會 大政災營會奈良縣支部 るしささな 度い、之は官職で出版するもの縣特高課に二部宛納めてもらび 人を問ばす殆んごの出版物は從 令が公布されてゐるかち團體個 それから今年の二月に出版事業 來の屆出制度から許可制度さな も同じである) 納本は必ず内務省檢閱課を奈良 したから御注意頭ひます。

奈良市町內會聯合會長 伊那佐村長 郎

東市村長山 中

縣協力會議員

石上神宮宮司池。田 五條中學校長

不必要な出版は

差控へよ

### 決戰貪調理

な折にそんな事で餘分の紙を消含マレテキマス、工夫活用シテ 〇コレカラ使フ冬ノカ野菜ノ活 チ補フコトが出來マス。 物資ノ節約ラ致シマセウ、トモ 0 スレバ不足勝チトナリ易イ荣養 (食品ノ完全活用) 個 テ課

用法チ考へマセカ

潜まさずに發行する向もあるが 又一部の人の中には納本手續を

〇活用法 ノ皮、甘藷ノ皮、キャベツノ 細クキザミ、 味噌汁

一三、出版物を『 11名高牒文は8 行を差控へる。 宛納本するこさ 必ず内務省を緊持高課に二部 到着の日敷を除いて三日前に 印刷する前に特高課又は所轄 合は團體、個人を問はす必ず 出版物を發行せんごする場 出版物發行に際しては其の

食品ノ中ニモピタミン灰分が

**中勢ノ葉及史莖、里芋ノ葉及** 大根葉、人参葉、燕帯ノ葉、

炒メ煮、塩漬、 混飯、 等ニ利用スル及乾シテ貯 カキ揚、佃煮、 胡麻和へ、 練り味 で預けよう

和个、

尚左の三點は是非實行していた 、出來るだけ新規出版物の發 〇次二果物ノ活用法モ考ヘマセ

一、食用鮮魚介類

割き、八〇〇は

物價便り

配給課

ノ皮 ミカンノ皮、柿ノ皮、リンゴ

天婦羅、團子、流シャ 煮詰ルトシャムが出來ル、飲ぎ 二利用シ叉粉末二砂糖チ加ヘテ 天婦羅、團子、流シャキ、パン 〇活用法 細ク切ツテ佃煮、カ 物、味噌汁、ガマ塩、 メノ中ニ詰メテ果物酢サ作ル 練り味噌

用ニモナリマス。 用出來テ風味モヨク、 フリカケ粉、吸物ノ賞、等ニ

### 紙も兵器だ

を一掃しよう 貯金通帳の無駄

マ年ョ十

月翌月

三錢

なご二册以上で預けてゐる場合 しよう! 一ヶ月に何回も預入 帳も大切な資材であるから新ら は期間の永い方へ合併して一册 するようにしよう! 利用して月一回位に纏めて預入 する事は通帳の高命を短くす 蓄報國の道であり今は一册の通 通帳の數を少くして預け高を多 く預入申込をする時には古い 者に呼び掛けて通帳 る事が敵米英を撃碎する貯 据置貯金 (花心楽テ含ム)十二月 (花心楽テ含ム)十二月 (花心楽テ含ム)十二月 二、淡水鮮魚介類(百匁富)
こひ、ふな、大、丸、五〇
ふな、大、丸、五〇
かな、小、金長七寸以上ノモノ
みな、小、五〇
みな、小、五〇
なな小トハ金長七寸未満ノモノ 蔬菜及果實類 ノ額三依ルモノトス 一貫 三銭

香料ノ代 かまあじ其/他/あじ、しまあ か に反きるあじ、しまあ か に反きるあじ、しまあ か に反きるあじ、しまあ カ、三二 大・トへ一尾正球四〇タ カ、一六 フ・ナ・バー尾上球四〇タ カ、二六 は カ・二六 で カ、二六 で カ、二六 カ・二六 で カ・二六 で カ・二六 まだい あまだい しらうた

切丸切丸身

三〇六四四〇〇五五

# 今日の常會の反省例

回

〇戦争の現状に照してお五の ○常會の組織運管について遺憾 な點がないであらうか

〇戦時下の日本人たる生活さ り方はこれでよい

栗川部落會炭焼き状況

〇一寸した工夫でお園の質にな

て取づる處はないか

○物の使命たすこう いやう生かしきつてゐる も無駄のな

### 月の



固め、今こそ残らず戦闘配置について生産戦に闘士防衛」かり、 感激を三たび新にし、あくまで長期戦を勝ち拔く覺悟を 途をたごつてゐます。 へますが、敵の反攻はいよいよはけしく戦局は深刻の一 月の八日は郎 大東亞の建設は着々三進展しこうに聖職第三年を迎 大東亞戰爭強 私ごもは一昨年十二月八日のあの

# 十二月だけて、六十億貯蓄」を選成しませう

さなつて、

今月こそは是が非で 昨年は十二月だけで三十億を、 も「六十億」を目 昨年は四十億を貯蓄し ざして總攻撃しませ

(一)八日には特に配念貯蓄ミして一日分以上の收入を

(二)應召した氣持で一層勤勢に勤み、年末の消費を切 おこさ。 詰め、なほ臨時收入も貯蓄や公債消化にふり向け

(三)進んで貯蓄祭を買ふここ。

# 年末年始の輸送力を强めませう

協力しませう。 なものの輸送をさまたけます。勝つために必要な輸送に 急の旅行や荷物の託送は、 戦争になくてはなら ぬ大切

い一)年末年始の旅行はやめること。

(二)贈答や買出はや 85 ること

婦人總蹶起運動

會員の血湖に期せずして湧きあて居るのでありますが、 大都市支部長會議の開催されるの財人な意気込みは、 ました。全國二千七百萬字通り私達の身に迫って 昨秋本智第 回總會に於て、畏 よつて、すでに相當の結實を得 今や會員諸姉の烈々たる熟意し 来班が単なる申合 い終らわやう 全國の各支部では 時恰上

大きな方向が指示めされたので なり「婦人經驗些申合」の決議記念日を迎いましたにつき、 の決戦を勝ち抜くべき三つの 全日本婦人か製つて お替いすべきであります 起の熱意し 盛大な第一回總會を開催し、蹶 來ならば今年は昨年にもまさる 节旨を承載いたしま 新に一層の御奉公 一感激の 本

とせいいら、はまでは本半は中 冒い意し、与外の一也ななり、のるやうなことがあつてほな! 縁下の食員所謂に宜しくその趣 迫せる決議下に於て、多人数の一會に代るべき行事」な實施する 、極めて小範圍で全會員型つ せられ以て しより殴力に支障を生せ 合旨奉讀式を暴行し、婦 今日に應へ奉られ 対熱の

さ共にその精神を生かして「総 す。 望して 止まない 本第であり んこさか切

#### 人 總 蹶 起 運 動 至十二月十四日

替つて飛行機を船に立派な職士を捧げませう 一人残らず決戦生産の完益に参加協力い

長袖を斷ら決戦生活の實踐 蹶起いたしませう

-

して日

に勢

せうつ

せら知ま組隣 船員に感謝し慰問激励

長を經で各户に頒布されます 伊勢の神宮より神職又「隣祖 神宮大麻は天照大神の大量 脚宮大麻な全戸漏れな 國民各自が朝夕神宮 - 爆敏の誠心臓で家庭 勇士し 船員達の御寄勢は前線の息軍 総問品を送り心から転謝し はその出身の船員に慰問交の また遺実族の慰問から念らわ ~。 町內會、部落會中隣組下 上遊りがありませ

しませう

で同じやうに行をさかんに! や歸還される場合は應召軍人 慰問に手落のないやうにしま

から漏れなくこ

れた拜受し日

々の決戦生活に輝

肺威を即

= 冬を切り抜けるために一俵で も多く一東で 十二月三十一日 木炭や新 增產 一多 一大大战也 努め

群

大祓であります。

**夏**になられた人はお互に励ま を生産しなければなりまっ 合つて割當量は必ず このため今度全國の生産 生産す

四、人の元に注意しませう。 極力節約に努めませう。 全にしまた暖る前に必ず火の な人命を失ふこさは断じて許ちこの決戦下費い資材や貴重 季符ですが一寸した不注意か されません。火毒を出すこさ 日です。十二月は火災の多い 十二月一日は全國一衛の防火 の生産 味方するのき同じこさ 心人気を取扱い場所の際お互に一層火の 火の始末を完 感朝

# 会

### 0) 方方 ~

のかげには、到産業や育業では、の方方に慰問、激励の一資ミし数果をおあに下さつてゐるかそ、尊い様子を工場で勧く離徴泉十五は、古今未営和、世界無比の「くやうに努め、以てその難しい でさいます。できなめてゐてお報らせしたいものでありま 知し、機回も幾回も反抗を重し、対議りし、業態の方. は愈々酣、尚も日夕苛烈の度 徴用援護會より 覆敵 「執拗 ころ夏の難って、

に造り出すさいふことでありま 刻も速かに立派な軍道具を澤山 その中でも最も肝心なことは一 で協力しなければなりません。 にあら人限りの精魂か打ち込んこれ等将兵の方方に對して我々

機を立派な彈丸をどつさりで造ありまして、我々は立派な飛行 あります。わが島軍將兵も亦日 今の一番急を學ふ大切なここで のお働をしていたゃくこさが只 つて、第一線に送り、思ふ存分 如何に精鋭無比なる島軍將兵ミ りまして、我々は立派な飛行も無手では戦は出來ないので

す。何物をも忘れて職様で預数 造る應徵士を多數必要さしま 戦つてゐるさ これ等軍需品ル いふ心持になっ きる立治 敵

切であります 何よりれるの町

立派ル藤傲士を送出する誇を有 家族の方方

の家族の力になり場合によつて、これでは、五に援け 係りの方による御相談下さるれば、市町村役場内の徴用接続 す。相談所の方へ行くのが遠 微用授護相談所を光ヶ御利用ト は、これに代つて各指導所内のの中で身の上や家事等に就いてので、の家族の力になり場合によつて 臆微士の鄭家族、御遺族の方方 政府会 それが為には隣祖精神な振少起 さるやうに致した ものだざ存じ いのであり

米國の若者は

米國 米國の大學は 米國の軍隊には その三分の一が女で さうの昔に姿を消した の工員は

八歳で射丁さな

この現實を 加してゐ

ていつに誓の意常

るのが適當さ思ひます。 術念のつぎ」に。 めにでもなるのかさいふ疑念を持たれる向きもあるか を唱和する標になりましたので「常尊の瞽」を取り止 ら云々)を唱和し、居りましたが類に「贈らぬく響」従水贈尊に於て「常會の警」(さきやかなる集のなが さ思いますが只今では之を取り止める意物はありませ ん、實情に即し適當に唱和して差支ありませんがでち △年末年始 も併用する場合には「常會の醫」は國民儀體の際へ 「勝ちぬ 替」は會の終りに唱和す

### 御遺族の皆様へ 應徵工御家族及

民職樂指導所內口徵用提聽和談 御力添へを致したい為めに各國 ら御相談に應じ、出來得ス限り ありになる方が御座のましたなん質行して貰ふ様。同月中を「 思察に餘 事や心能事はごがお 應徴士の郷家族、 よらず心がきなく打ち明けて御 所が出來て居りますから何奉に 相談して下さい。 御遺族の方方 開され

のやうな雄しい事でも遠慮な こさになって居りますから、 相談所へ移し協力して解決する るものは縣廳内に在る中央接護 相談事項によつて解決の困難な

微用授護茶具縣 相 獸

### 年内に目標達成へ! 二日七十億口蓄總攻擊

二百七十億野蓄攻察特別期間」 ので、この期の決算力である十世別から十二月にかけて各種の 月には、 思い切り多額の貯蓄

た大に推進して頂き度い 二百七十億貯蓄 是非共十二月中に一億四十萬回 本縣では前年の成績に徴して、 貰ふさ共に、次のやうな諸方法を見場し、貯蓄認識を徹底して 之が爲縣民各位は の貯蓄目標を達成して以てその 一多額の貯蓄を實行 山き度いご希望成 一層戰爭意識

△米供出代金を長期貯蓄さする △幽槓 の隣保消化な一層多 國債貯

△非末質風國債支給 依る時 に於ける路經費節約 宴旨殿山、旅行

取止、新生 △國民貯蓄組合の强化 △當性預金を長期の貯蓄にする 新年用品等買込自縣

△な素より △次の如き貯蓄の實行 電力節約貯蓄 際行ふう 衣料切符貯蓄 敬米貯蓄へ米の配紹を受 大果中戰爭 正月用品特。感酬貯蓄 周年記念貯蓄 、働くこさ

# 『貯蓄劵』お目見得

版 額で、形は小型の仲々端洒は上板、額で、形は小型の仲々端洒は上である。その利用方法等の大である。 金同信要分に、貯蓄をする場合に、貯蓄をする場合にの貯蓄券に、貯蓄をする場合にの分を持つてもでする。 この貯蓄券は 額面も比較 出来る様にさ、今度新に一番上が最行されること、な なった

值券

○日野語券の種類 ・工園、佐園の ・工園、 ・工園、 ・工品、 ・工品、

さころ次のものに限られてこの安で貯蓄し得るのは今

好金にも預入出來ること から小郵製貯金や、國債 次は揺巖貯金 次は揺巖貯金 がら小郵製貯金や、國債

面ば年のの一番が さかれてあるン 前記の貯蓄に預かる発行の年さ、 限は参

頂に取る場合も

でも斡旋してった入州の場

送れ義勇軍 舉つて激勵